
何故

刹那

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

何故

【著者名】

NO473N

【作者名】 刹那

【あらすじ】

これは僕の身の周りで起きた事に対して思った事をまんま書いた
ものです

この世に産まれてから僕は色々なことを知った。

ヒトというものを、人として生きる道を。

人として生きたかったから、色々なことを我慢する事を覚えた。

我慢するしかない、と言つ事も。

子供の戯言と言われても思われても仕方た無い事なんだろうけど
僕にはどうしても理解に苦しむ事がこの世にはたくさんある。
それをいくつか言いたいと思う。

イジメは世界中の何処もある。大人、子供も関係ない。

何もしていない奴がなんでも皆から無視されたり
嫌がらせされるのが分からぬ。集団で行うとかムカつく。
1対1でやればいいのに仲間を呼ぶなんて。
いやその仲間というのは、本当に仲間と呼べる者なのかも曖昧だけ
ど。
イジメられる方も、助けて欲しいなら声を出せばいい。
どうしても無理なら他の方法を考えるべきだ。
ただじつと耐えているだけではやっぱりダメだと思う。
僕がそうだった様に。

学校で歴史を習う必要があるのか分からぬ。

だって、それを覚えるのはテストのためだ。

テストが終われば忘れる。

必要な無い情報を残しとくと脳の容量が勿体無いから。
そんなどうでもいい事覚えるくらいなら

数学とかもつと実用性のある物を覚えた方がいいに決まっているの
に。

先生が勉強について話す事。

『勉強は誰のためにするんだ』

先生が僕に問いかけた。

20人いた生徒の中で先生はあえて僕に聞いた。
(国のために)と心の中で思つた。

だけど声に出したのは「自分のため」だ。

先生はそうだ。と言つた。勉強についてどんどん話している。
でも、僕はまったく聞いてない。聞きたくもない。
頭の中でこんな事を思つていた。

『まさか。自分のためってのは30%くらいでしょ。

実際は国のために。だって僕たちが馬鹿だつたらこれからの政治は
成り立たなくなる。

お金なんかも昔みたいに物々交換でいいじゃないか。計算が必要な
くなる。

言葉だつて喋れたらいいじゃんか。文字だつて絵で通じるだろ?』

この僕の意見に賛成する人は年齢によると思つ。

まあ、否定する人の方が確実に多いだろうけども。

あくまで、僕個人の意見だ。

これを他人に否定され、文句を言われる筋合いは無い筈だ。

(後書き)

誤字・脱字等があればお願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0473n/>

何故

2010年10月22日00時16分発行